

安全データシート (SDS)

2011年9月26日
2024年1月15日

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	パツモル太郎™
会社名	デュポン・スタイロ株式会社
住所	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町11-1
電話番号	0289-76-2555
ファックス番号	0289-76-0374
緊急連絡電話番号	0120-113-210
推奨用途及び使用上の制限	住宅基礎部分のスタイロフォーム™への直塗仕上げ材 推奨用途以外の用途へ使用する場合は供給者の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学の危険性	分類できない
健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性) 区分2 水生環境有害性 (長期間) 区分2

GHSラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語	なし
危険有害性情報	水生生物に毒性。長期的影響により水生生物に毒性。
注意書き	安全対策： 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。環境への放出を避けること。 救急処置： 曝露又は曝露の懸念がある場合、医師の診断 手当をうけること。 廃棄： 内容物 容器を国 都道府県・市町村の規則に従って破棄すること。

安全データシート (SDS)

3. 組成及び成分情報

単一化学物質又は混合物の区別 混合物

組成物質名	CAS登録番号	指定化学物質の種別	化審法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
二酸化チタン	13463-67-7	労*	5-5225	2.0%
重質炭酸カルシウム	1317-65-3	-	情報なし	70%
マイカ	12001-26-2	-	情報なし	1.0%
アクリル系樹脂	-	-	-	10%
水	7732-18-5	-	情報なし	15%
その他	-	-	-	2.0%

*労働安全衛生法に基づくラベル表示及びSDS交付義務対象物質

4. 応急措置

吸入した場合	蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。外観に変化が見られる、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
眼に入った場合	直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる。場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。出来るだけ早く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断をうけること。嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
使ってはならない消火剤	情報なし。
特有の消火方法	周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等を着用する。目、皮膚への接触やガスの吸引を避ける。屋内では換気をしっかりと行う。屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材 (二次災害の防止策)	河川への流出等により、環境へ影響を起ささないように注意する。 漏出物は密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

安全データシート (SDS)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：換気のよい場所で行う。容器はその都度密栓する。着衣、皮膚、粘膜に触れない、眼に入らないように適切な保護具を着用する。

保管

安全な保管条件：凍結、直射日光を避け、涼しい場所、換気の良い場所で容器を密閉し保管する。保管時の温度は5℃以下あるいは35℃以上にならないようにする。盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

制定されていない。

管理濃度

設定されていない。

設備対策

特別な対策は必要ない。

保護具

呼吸用保護具：呼吸器の保護具作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具：有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具：取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護具：取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。と。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策：作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

物理状態：ペースト状

色：グレー

臭い：わずかにアクリル臭

融点・凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

爆発下限界及び爆発上限界：なし

／可燃限界：

引火点：なし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

溶解度：水に分散する

n-オクタノール／水分配係数：データなし

(log値)：

蒸気圧：データなし

比重 (相対密度)：約1.8

安全データシート (SDS)

10. 安定性及び反応性

反応性, 化学的安定性	通常の条件においては安定。
危険有害反応可能性	通常の状態においては反応性なし。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	<マイカとして> 粉塵ばく露によるじん肺の報告（職場のあんぜんサイトSDS）があるが、本製品はペースト状であり、通常の取り扱いでは粉塵状にならない。そのため本製品の有害性区分から除外した。
特定標的臓器毒性・全身毒性 (反復ばく露)	

12. 環境影響情報

水性環境有害性 (急性)	助剤
水性環境有害性 (長期間)	助剤

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関係法規並びに地方自治体の基準に従うこと。廃塗料、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理するか委託すること。
汚染容器及び包装	空容器は内容物を完全に除去後、関係法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

輸送上の注意	取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
国内規制	陸上規制情報： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。 海上規制情報： 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。 航空規制情報： 航空法の定めるところに従うこと。
国際規制	輸出先の法規に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	
名称等を通知すべき危険物及び有害物：	酸化チタン (IV)
名称等を表示すべき危険物及び有害物：	酸化チタン (IV)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当。
消防法	非該当。
毒物及び劇物取締法	非該当。
海洋汚染防止法	非該当。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	非該当。

安全データシート (SDS)

16. その他の情報

主な引用文献	<ul style="list-style-type: none"> ・各原材料メーカー発行のSDS ・JIS Z 7253:2019 ・GHS 対応 SDS ・ラベル作成ガイドブック(混合物 塗料用)改訂第 2 版 日本塗料工業会 ・独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) 								
本書の取扱いと注意事項	<p>記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成されており、新しい知見により改訂されることがあります。また注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取り扱い業者はこれを参考として、個々の取り扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、取り扱い願います。</p>								
改訂履歴	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">2007年09月</td> <td>新規作成</td> </tr> <tr> <td>'2019年05月</td> <td>会社名を変更</td> </tr> <tr> <td>'2021年9月</td> <td>最新の情報に基づきGHS区分・該当法規の見直し。</td> </tr> <tr> <td>'2024年1月</td> <td>最新の情報に基づきGHS区分・該当法規の見直し。</td> </tr> </table>	2007年09月	新規作成	'2019年05月	会社名を変更	'2021年9月	最新の情報に基づきGHS区分・該当法規の見直し。	'2024年1月	最新の情報に基づきGHS区分・該当法規の見直し。
2007年09月	新規作成								
'2019年05月	会社名を変更								
'2021年9月	最新の情報に基づきGHS区分・該当法規の見直し。								
'2024年1月	最新の情報に基づきGHS区分・該当法規の見直し。								